

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		水防対策		款	5	項	3	目	3	事業	3	整理番号	425						
担当部課名		都市整備部建設課		係名	計画調整係		連絡先電話番号	3422		昨年度整理番号	421								
上位施策No・施策名		10 水害対策の推進		予算事業区分								既定事業							
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	40	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	1	政策番号	4	施策番号	2	事業コード	5	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/>	個人	<input checked="" type="checkbox"/>	世帯	<input type="checkbox"/>	団体	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>	内部管理	根拠法令等 (1) 水防法第3条(市町村の水防責任) (2) 東京都水防条例東京都水防計画							
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○台風・集中豪雨の正確な情報を速やかに収集・把握し、区民に正確な情報提供を図るとともに、的確な水防活動を行うことにより、浸水の未然防止や被害の軽減を図ります。										活動指標名(式) (1) 緊急水防作業委託回数 (2) 雨量・水位観測装置の保守点検回数							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○雨量、水位の観測装置等の維持管理 ○台風・集中豪雨などの気象情報収集 ○土の手配、ポンプ排水などの水防活動										成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 土のう積み個数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 水防態勢の回数 算定式・指標の説明等							
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績										
指標	活動指標(1)	①	回	12	/	6	/	6	/										
	活動指標(2)	②	回	2	2	2	2	2	2	100.0									
	成果指標(1)	③	個	972	/	8,139	/	368	/										
	成果指標(2)	④	回	22	/	13	/	10	/										
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	20,926	34,279	24,149	32,004	26,735	27,274	22年度予算執行率% 83.5									
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	2,172	0	0	0	7,219	0	特記事項 緊急水防作業委託回数が少なかったため、執行残となりました。									
	(内) 委託費	⑦	千円	18,160	31,222	21,897	28,945	24,297	23,321										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.14 0.00	1.10 0.00	1.13 0.00	1.10 0.00	1.13 0.00	1.10 0.00										
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	10,317	9,767	10,033	9,812	10,080				9,812						
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0				0						
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	31,243	44,046	34,182	41,816	36,815	37,086										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	2,422,583		5,697,000		4,932,667											
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0				0						
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0				0						
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0				0						
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0									
		特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	0	0	0	0	0	0									
差引: 一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	31,243	44,046	34,182	41,816	36,815	37,086										
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 425

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				水防情報システム維持管理	2
		緊急水防作業委託	6	回	2,517
		水防訓練	1	回	1,486
		水防情報システムの改修工事(番屋橋)	1	件	7,219
		その他(維持管理経費ほか)			9,790
	(2) 事業実績	大雨洪水警報・注意報が発令され、4月から12月の間に水防一次態勢1回、緊急部隊対応4回、情報連絡態勢5回、合計10回の水防活動を行いました。 5月28日には区内消防署など関係機関との合同水防訓練を行いました。 また、より迅速的確に水防活動を行うため、水防態勢の見直しを行いました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	近年は集中豪雨等による被害が多く、河川沿いの地域外でも水害が起こるようになりました。 被害件数 16年度 54件、17年度 1898件、18年度 6件、19年度 16件、20年度 0件、21年度 22件、22年度 3件
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	水害時に、土の手配、ポンプの設置等の対応を迅速に行ってほしいとの要望があります。
	今後の予測	気象の急激な変化やヒートアイランド現象などにより、局地的な集中豪雨は増加傾向にあります。 また、住宅の地下利用など宅地の高度利用による住宅への浸水被害も増えています。
	評価と課題	区では、集中豪雨や都市部特有のゲリラ豪雨にも迅速な対応ができるよう、緊急態勢の充実、区民への雨量や河川水位など迅速な情報伝達の仕組みや水防活動に必要な水防基地の整備に努め、水害の軽減を図り、安全で安心な区民生活を守っていきます。 善福寺川下流部は護岸改修や調節池が完成し、浸水被害は減少傾向が見られますが、中流部では依然浸水被害が発生しており、その対策が課題です。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ● 実施方法の変更
	水防活動を迅速的確に実施するため、水防配備態勢における人員配置や事前配備地域の見直しなどを行いました。 今後も、水害の発生状況を考慮し、柔軟に態勢の見直しを行っていきます。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		雨水流出抑制対策等工事助成			款	5	項	3	目	3	事業	4	整理番号	426					
担当部課名		都市整備部建設課			係名	計画調整係			連絡先電話番号	3422		昨年度整理番号	422						
上位施策No・施策名		10 水害対策の推進			予算事業区分								投資事業						
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	6	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	1	政策番号	4	施策番号	2	事業コード	4,6	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 《雨水浸透施設》敷地面積が1,000㎡未満の個人住宅等の所有者で、区の定めた雨水浸透施設を設置する個人。 《防水板設置》住宅、店舗、事務所等個人が使用する建築物に防水板設置および関連工事を行う個人。 《高床化工事》助成対象地域内において、住宅等(住宅、店舗、事務所および居室を有するもの)の高床化工事を行う建築主。																	
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○浸水被害の軽減 ○地下水や湧水を回復させるとともに緑勢を回復し、潤いと安らぎのある生活環境を再生創出する。																	
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○雨水浸透施設の設置者に工事費の一部を助成 ○防水板設置や高床化工事を行う者に、工事費の一部を助成																	
根拠法令等		(1) 杉並区雨水流出抑制対策推進要綱(昭和58年6月) (2) 杉並区雨水流出抑制施設設置指導要綱(平成6年3月) (3) 杉並区雨水浸透施設設置助成金交付要綱(平成6年3月) (4) 杉並区水害予防住宅高床化工事助成金交付要綱(平成20年5月) (5) 杉並区防水板設置工事助成金交付要綱(平成20年5月)																	
活動指標名(式)		(1) 雨水浸透施設設置助成件数 (2) 雨水浸透施設設置助成額																	
成果指標		※(代)＝適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 助成により設置された雨水浸透施設の浸透量 算定式・指標の説明等 単年度 成果指標名(2) 助成により設置された雨水浸透施設の浸透量 算定式・指標の説明等 平成6年度からの累計																	
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績										
指標	活動指標(1)	①	件	113	100	116	130	131	100	100.8									
	活動指標(2)	②	千円	31,335	30,000	33,184	40,000	30,294	25,000	75.7									
	成果指標(1)	③	㎡/h	606	550	981	550	788	550	143.2									
	成果指標(2)	④	㎡/h	5,451	6,001	6,432	6,982	7,220	7,770	103.4									
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	32,268	36,285	36,190	46,024	34,711	29,007	22年度予算執行率% 75.4									
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	32,125	33,000	35,010	45,000	33,950	28,000	特記事項									
	(内) 委託費	⑦	千円	8	21	17	22	22	44										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.35 0.00	1.30 0.00	1.34 0.00	1.30 0.00	1.33 0.00	1.30 0.00										
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	12,218	11,543	11,898	11,596	11,864	11,596									
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0									
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	44,486	47,828	48,088	57,620	46,575	40,603										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	109,389	148,280	112,741	97,077	96,374	126,030										
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0									
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0									
都からの補助金等		⑮	千円	6,607	5,000	7,846	5,000	6,469	4,262										
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0										
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯	⑰	千円	6,607	5,000	7,846	5,000	6,469	4,262											
差引: 一般財源⑰-⑫	⑱	千円	37,879	42,828	40,242	52,620	40,106	36,341											
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

今年度については、助成金額の改定があり、申請件数の増加が見込まれたため、例年に比べて100万円多く予算がつきました。
 一方、東京都の定める、浸透施設の単位貯留・浸透量が大幅に増えたこととともない、設置個数が大幅に少なくなりました。
 このことにより、ほぼ例年と同じくらいの歳出となり、執行率も、75.4%にとどまりました。

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 426

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		雨水浸透施設設置工事の助成	131	件	30,294
		水害対策家屋工事助成	4	件	3,656
		雨水浸透施設設置工事の助成の印刷費等			475
		水害対策工事助成の助成の印刷費等			286
	その他 ()			0	
(2) 事業実績	『雨水流出抑制対策工事助成』については、助成件数131件と前年度より15件増えましたが、浸透施設の単位貯留・浸透量が増えたことに伴い、必要設置個数が減少したため、執行率は75%となりました。 洪水などによる家屋への浸水被害を防止するための『水害予防住宅高床化工事助成』については、申請が2件、『防水板設置工事助成』については、2件の申請があり、365万円余の助成金の交付となりました。				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している ▼	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ) ▼	
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成] ▼	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続 ▼	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区の雨水流出抑制目標対策量は、472,000㎡(神田川・目黒川水系)で、平成22年度末の達成数量は、236,389㎡でした。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	工事費用負担が高額になるので、助成金の単価や、限度額を増額をして欲しい。 対象となる敷地面積が100㎡以上となったが、助成金の規格に該当する浸透施設が、スペース的に設置出来ない。 高床化工事助成を利用するに当たっては、北側斜線の緩和を伴わないと、利用できない。
	今後の予測	近年、河川や下水道の整備水準を上回る豪雨が増加し、河川の氾濫や地盤の低い地域での浸水被害が発生しています。こうした状況のなか、区民の安全と安心を守るため、更に、雨水浸透施設等の普及を図っていく必要があります。
評価と課題		雨水浸透施設の普及を阻害する設置スペースの問題を解決するため、平成22年4月から、小型の浸透施設も助成の対象に加えました。利用者からは、助成金の使い勝手がよくなったという意見が寄せられるなど助成金利用が増進しました。 助成金額について全額補助ではないので、一部受益者負担が生じています。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性 ○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善 ○ 事業内容の変更 ● 実施方法の変更
<p>浸透施設は新築時に設置するケースが大半で、経済情勢や施主の資金力がその普及に影響を及ぼしています。雨水浸透が、助成金の交付対象となっていない法人事業者も含めて区内全域に普及するよう、簡易浸透ますの利用や配管面でのコストが少なくすむ方法についても指導・助言を行っていきます。</p> <p>雨水浸透は、水害対策のみならず、地下水や湧水を回復させるとともに、豊かな緑をはぐくみ、ヒートアイランド化の抑制にも効果を発揮しています。</p> <p>こうした環境面での貢献もアピールして、利用者の理解を得ながら、浸透施設の普及を図っていくよう努めます。</p>		

特記事項	
------	--